

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1008 社会福祉一般事務	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本施策	03 高齢者などを地域や集落で支える環境をつくる	目	01	社会福祉総務費
		細目	183	社会福祉一般事務経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	社会福祉一般事務経費
担当部課	コード	653000		担当者氏名
	名称	阿山支所 住民福祉課		
		増井 達也	連絡先	43 - 0332 (内線) 226

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	地域福祉活動が活性化し、社会福祉に対する意識が向上する。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	社会を明るくする運動を実施する保護司会、更生保護女性の会の事務支援を行なう(「愛の資金」募金活動、啓発パレード等の実施)。地域福祉に対する一般事務。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
社会を明るくする運動阿山地区募金活動	目標	1	1	1	1	1
	実績	1	1	1	1	1
啓発パレードの実施	目標	1	1	2	2	2
	実績	1	2	2	2	2

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
社会を明るくする運動の行事	保護司会、更生保護女性の会の活動実施率		%	目標	100	100	100
				実績	100	100	100
				目標			
				実績			

投入コスト	Aの財源内訳	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)		128	128	106	106
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
一般財源		128	128	106	106
事業投入人件費(B)		0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.1人 720	0.1人 720
フルコスト(A)+(B)		1,568	1,568	826	826

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
有効性	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
効果性	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
効果性	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	市民に対する啓発方法を本推進委員会で見直しを行う必要がある。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 旧上野市、旧郡部が別々に行っていた啓発パレードを一体化し、効果的かつ効率的に行った。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 社会を明るくする運動の推進により、地域の犯罪防止に努めている。今後も事業の継続は必要である。
現時点における課題、その他	啓発パレードを実施しているが、実施場所等内容については検討が必要である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	来年度実施に向けて内容の検討が必要である。(7月の社明運動までに検討が必要)